

平成20年度 「日本酒の会」報告

世話役 江藤 聡明

2月18日、神田ワイヴィラージュにて、無名会ワイン同好会による日本酒の会が開催されました。多数ご参加頂き誠に有り難うございました。

お酒は全部が持ち込みとなることから我が儘を聞いて頂ける店ということで、何時ものワイン会開催イタリアンレストランと相成ったわけですが、日本酒に合わせるのは大変だったようです、謝謝。

さて、テイasting（利き酒？）した日本酒のラインナップは、以下の通りです（ボトルは掲載写真をご覧ください）。

セレクションは、同好会顧問の田中成志（利き酒師）御用達の長谷川酒店に10本お願いし、江藤が2本を追加しました。日本酒に詳しい方には、十分納得のいく選択かと思われま

1. “乾杯用”Sparkling Asia 微紅 330ml 7本 <広島県>
2. 東一 Nero純米吟醸 720ml 2本 <佐賀県>
3. 松の司 AZORA 純米吟醸720ml 2本 <滋賀県>
4. 東洋美人 唐傘 純米吟醸 720ml 2本 <山口県>
5. 上喜元 中取り純米吟醸 720ml 2本 <山形県>
6. 磯自慢 中取り 純米吟醸 720ml 2本 <静岡県>
7. 醸し人九平次 純米大吟醸 720ml 1本 <愛知県>
8. 御湖鶴 純米大吟醸 720ml 1本 <長野県>
9. 醴泉正宗 純米大吟醸 720ml 1本 <岐阜県>
10. 美丈夫 純米大吟醸 720ml 1本 <高知県>

追加で、

1. 菊正宗の“嘉宝蔵” 特別純米 2本 <兵庫県>
1. 菊正宗の“嘉宝蔵” 特撰本醸造 2本 <兵庫県>

まず特筆すべきは、ワイン会の時より声が大きかった（うるさかった）ことでしょうか。確かに、酔い方も激しかった様です。下ネタの多さにも現れていました・・・。ワインよりやや度数が高いのと、ワインテイastingの時のような緊張がなく、リラックス感が大きかったせいでしょう。

さて、利き酒結果ですが、全国各地のセレクションは、味も様々でしたが、そもそも全体のレベルが高いので、評価は難しいと言うのが正直な所です。好き、嫌いの世界です

最後に、「東洋美人」、「磯自慢」、「嘉宝蔵」（特別純米）の3種類をもう一度飲んで、何れの酒であるかを当てる趣向を行ったのですが、ワインと違い、殆ど皆さんが正解でした。ワインより味の差が無いなんて勝手に思いこんでおりましたが、逆でした。何れも個性豊かな良い酒だったということも有るでしょうが。

良い経験をさせて頂きました。

ご協力者の皆様、参加者の皆様有り難うございました。御礼申し上げます。

今後の予定 ; これまでお世話になりましたレストラン、ワイヴィラージュが4月でクローズになりますので、最後に1人1本持ち込みワイン会をやりたいと思っております。その節は、宜しくお願い致します。 日本酒の会も第2回やりましょう。

